

3. 2023年の気温と降水量の概況

2023年の関東甲信地方、東海地方、近畿地方、四国地方、九州北部地方における気温平年差と降水量平年比を表3.1及び図3.1に示す。ここで平年差(比)とは、平年値(1991～2022年の観測値の平均をもとに算出)と2023年の観測値との差(比)を示す。

2023年は台風の発生数が17個でそのうち9月以降の発生は5個となり、統計開始以降最も少なかった。日本への接近数は9個、上陸数が1個であった。

表3.1 各地方別気温平年差及び降水量平年比(気象庁資料^(a)から作成)

○気温平年差(°C)

地方名	12～2月	3～5月	6～8月	9～11月	2023年
	冬	春	夏	秋	
関東甲信	+0.4	+1.9	+1.8	+1.6	+1.6
東海	+0.3	+1.7	+1.3	+1.1	+1.2
近畿	0	+1.4	+1.0	+1.0	+1.0
四国	-0.1	+1.1	+0.5	+0.9	+0.8
九州北部	0	+1.3	+1.0	+0.8	+1.0

○降水量平年比(%)

地方名	12～2月	3～5月	6～8月	9～11月	2023年
	冬	春	夏	秋	
関東甲信	61	104	103	71	88
東海	54	110	137	65	100
近畿	61	132	112	63	96
四国	69	129	116	41	93
九州北部	102	129	98	69	101

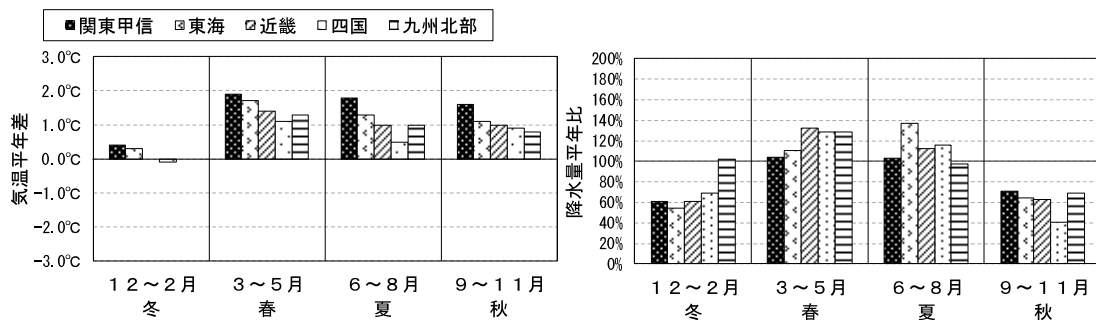


図3.1 各地方別気温平年差及び降水量平年比

参考文献(a) 気象庁ホームページ「日本の地域平均気候表」

(参考) 日本の気温の変化

2023年の日本の平均気温の基準値(1991～2020年の30年平均値)からの偏差は+1.29°Cで、1898年の統計開始以降、2020年を上回り最も高い値となった。日本の年平均気温は、様々な変動を繰り返しながら上昇しており、長期的には100年あたり1.35°Cの割合で上昇している。特に1990年代以降、高温となる年が頻出している。*

* 気象庁HP (http://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/an_jpn.html) から引用